



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月31日

上場会社名 日東富士製粉株式会社

上場取引所 東

コード番号 2003 URL <https://www.nittofuji.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下嶋 正雄

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 坂田 喜章

TEL 03-3553-8781

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日

配当支払開始予定日

2018年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	25,986	10.8	1,660	31.9	1,828	29.0	1,591	61.2
2018年3月期第2四半期	23,459	△2.2	1,258	8.9	1,417	10.5	987	10.5

(注)包括利益 2019年3月期第2四半期 1,735百万円 (36.2%) 2018年3月期第2四半期 1,274百万円 (12.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	347.57	—
2018年3月期第2四半期	215.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	45,925	33,632	73.0
2018年3月期	47,358	32,470	68.3

(参考)自己資本 2019年3月期第2四半期 33,518百万円 2018年3月期 32,361百万円

(注)『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	30.00	—	124.00	154.00
2019年3月期	—	90.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	100.00	190.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	11.0	3,500	20.7	3,800	19.8	3,000	28.4	655.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	4,692,364 株	2018年3月期	4,692,364 株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	113,295 株	2018年3月期	112,940 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	4,579,250 株	2018年3月期2Q	4,579,603 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「添付資料」3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、中期経営計画「Next Future 2020」を策定し、「原料調達・製造・販売・開発・物流」全部門の連携を強化し、3つの事業戦略である「新しい市場へ」「新しい商品へ」「新しい分野へ」を掲げ、計画の達成に向け取り組んでおります。(株)増田製粉所は本年2月に当社の完全子会社となり、両社の経営資源を最大限に活用し業務効率化に取り組み、成長戦略の実現に向け全社一丸となり努力して参りました。

当社グループの第2四半期の業績につきましては、製粉及び食品事業の連結効果の影響により、売上高は259億8千6百万円（前年同期比10.8%増）となりました。利益面では、外食事業における人件費や改装費などの経費増はありましたが、製粉及び食品事業や運送事業における原価低減・効率化など収益改善策や(株)増田製粉所の子会社株式（カネス製麺(株)）の売却益が寄与した結果、経常利益18億2千8百万円（前年同期比29.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益15億9千1百万円（前年同期比61.2%増）となりました。

(前年同期間比)

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	23,459	25,986	2,527	10.8%
営業利益	1,258	1,660	401	31.9%
経常利益	1,417	1,828	411	29.0%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	987	1,591	604	61.2%

〔セグメント別営業概況〕

①製粉及び食品事業

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	20,264	22,954	2,690	13.3%
営業利益	1,120	1,596	476	42.6%

「製粉及び食品事業」につきましては、本年4月に外国産小麦の政府売渡価格が平均3.5%引き上げられたことを受け、6月には小麦粉製品の価格改定を行いました。また、(株)増田製粉所の新規連結に伴う販売数量の増加等により、売上高は前年同期比13.3%増の229億5千4百万円となりました。営業利益は、販売数量が増加したことに加え、全社一丸となり効率化を進め、コスト削減に努めたこと等により、15億9千6百万円（前年同期比42.6%増）となりました。

②外食事業

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	3,085	2,964	△121	△3.9%
営業利益	13	△54	△68	△506.6%

「外食事業」の(株)さわやか（当連結対象期間1月～6月）につきましては、主力のケンタッキーフライドチキン店の販売競争の激化により売上高が前年同期比3.9%減少し29億6千4百万円となりました。営業利益は、フードコストの上昇や人件費、店舗改装費などの経費が嵩んだことにより、5千4百万円の損失（前年同四半期は営業利益1千3百万円）となりました。

③運送事業

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期差	前年同期比
売上高	1,051	999	△52	△5.0%
営業利益	96	81	△15	△15.6%

「運送事業」の日東富士運輸(株)につきましては、売上高は、前年同期比5.0%減少し9億9千9百万円となりました。営業利益は、配送の効率化や経費削減努力を行いました。が、燃料代の高騰などの負担が大きく、8千1百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2018年3月期	2018年9月期	比較
流動資産	23,515	21,792	△1,722
固定資産	23,842	24,132	290
資産計	47,358	45,925	△1,432
流動負債	10,798	8,412	△2,386
固定負債	4,089	3,881	△207
負債計	14,887	12,293	△2,594
純資産	32,470	33,632	1,161
負債・純資産計	47,358	45,925	△1,432

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、遡及処理後の前年度末の数値で比較を行っております。

当第2四半期連結会計期間末の当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べ14億3千2百万円減少し、459億2千5百万円になりました。

流動資産は217億9千2百万円で、たな卸資産が増加した一方、営業債権や現金及び短期貸付金が減少したことにより、前年度末に比べ17億2千2百万円減少しました。固定資産は241億3千2百万円で、保有している投資有価証券の評価差額金の増加等により、前年度末に比べ2億9千万円増加しました。この結果、資産合計は459億2千5百万円となり、前年度末に比べ14億3千2百万円減少しました。

流動負債は84億1千2百万円で、主に営業債務や短期借入金等の減少により、前年度末に比べ23億8千6百万円減少しました。固定負債は38億8千1百万円で、長期借入金の減少等により、前年度末に比べ2億7百万円減少しました。この結果、負債合計は122億9千3百万円となり、前年度末に比べ25億9千4百万円減少しました。

純資産は利益剰余金の増加に加えその他有価証券評価差額金の増加等により、前年度末に比べ11億6千1百万円増加し、336億3千2百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度に比べ4.7%増加して73.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「製粉及び食品事業」につきましては、国内市場は少子高齢化の進行や、人口減少による需要の後退が販売競争を一段と激化させ、この先も難しい事業運営が予想されます。これらに備え競争力を更に強化する必要があります。

「外食事業」では、業界内での競争激化と消費者の節約志向が続くなか、各店舗に合わせた効果的な事業運営が必要とされています。また、消費者の食の安全・安心に対する意識も一段と高まっており、これに応える店舗運営にも注力して参ります。

当社グループを取り巻く環境は今後更に厳しくなることが予想されますが、「原料調達・製造・販売・開発・物流」が一体となり、徹底した効率の追求と競争力の強化に取り組むとともに、三菱商事グループ各社との連携強化や、(株)増田製粉所との開発・営業面でのシナジー効果をさらに増加させることにより業績拡大に向けて最大限努力していく所存です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,862	1,458
受取手形及び売掛金	8,946	7,842
商品及び製品	2,167	2,285
原材料及び貯蔵品	6,492	7,168
短期貸付金	3,613	2,411
その他	447	642
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	23,515	21,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,172	4,162
機械装置及び運搬具（純額）	3,106	2,957
土地	4,817	4,774
その他（純額）	517	749
有形固定資産合計	12,614	12,643
無形固定資産		
その他	727	720
無形固定資産合計	727	720
投資その他の資産		
投資有価証券	7,578	7,874
退職給付に係る資産	1,935	1,873
その他	1,050	1,083
貸倒引当金	△63	△62
投資その他の資産合計	10,500	10,768
固定資産合計	23,842	24,132
資産合計	47,358	45,925

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,080	4,336
短期借入金	585	520
1年内返済予定の長期借入金	661	574
リース債務	-	0
未払法人税等	402	710
賞与引当金	516	455
役員賞与引当金	24	17
その他	2,527	1,796
流動負債合計	10,798	8,412
固定負債		
長期借入金	751	474
繰延税金負債	2,406	2,493
役員退職慰労引当金	122	134
退職給付に係る負債	345	296
資産除去債務	361	376
リース債務	-	5
その他	102	101
固定負債合計	4,089	3,881
負債合計	14,887	12,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,500	2,500
資本剰余金	4,049	4,048
利益剰余金	22,472	23,496
自己株式	△287	△288
株主資本合計	28,735	29,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,325	3,540
為替換算調整勘定	95	65
退職給付に係る調整累計額	205	156
その他の包括利益累計額合計	3,626	3,762
非支配株主持分	108	113
純資産合計	32,470	33,632
負債純資産合計	47,358	45,925

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	23,459	25,986
売上原価	18,098	19,844
売上総利益	5,360	6,141
販売費及び一般管理費		
販売手数料	403	299
販売運賃	1,027	1,163
貸倒引当金繰入額	6	0
給料及び手当	848	1,021
賞与引当金繰入額	180	171
役員賞与引当金繰入額	12	17
退職給付費用	7	29
役員退職慰労引当金繰入額	10	12
その他	1,603	1,765
販売費及び一般管理費合計	4,101	4,481
営業利益	1,258	1,660
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	57	61
持分法による投資利益	36	-
その他	107	125
営業外収益合計	205	190
営業外費用		
支払利息	14	4
支払補償費	0	5
海外子会社駐在員に係る源泉所得税負担額	9	3
その他	22	9
営業外費用合計	46	22
経常利益	1,417	1,828
特別利益		
固定資産売却益	-	3
投資有価証券売却益	-	488
特別利益合計	-	491
特別損失		
固定資産売却損	-	4
固定資産除却損	12	16
その他	-	0
特別損失合計	12	20
税金等調整前四半期純利益	1,404	2,299
法人税、住民税及び事業税	405	693
法人税等調整額	7	5
法人税等合計	413	698
四半期純利益	991	1,600
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	987	1,591
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	9

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	380	215
繰延ヘッジ損益	4	-
為替換算調整勘定	△48	△31
退職給付に係る調整額	△64	△49
持分法適用会社に対する持分相当額	10	-
その他の包括利益合計	282	134
四半期包括利益	1,274	1,735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,271	1,727
非支配株主に係る四半期包括利益	2	7

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,404	2,299
減価償却費	530	620
のれん償却額	1	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△41	△60
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	△7
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	68	61
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3	△49
退職給付費用 (組替調整分)	△93	△70
受取利息及び受取配当金	△61	△65
支払利息	14	4
持分法による投資損益 (△は益)	△36	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△488
固定資産売却損益 (△は益)	-	1
固定資産除却損	12	16
売上債権の増減額 (△は増加)	△166	1,100
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△839	△797
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△11	△195
仕入債務の増減額 (△は減少)	500	△1,742
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△481	△802
その他	△43	△3
小計	743	△181
利息及び配当金の受取額	77	65
利息の支払額	△14	△5
法人税等の支払額	△491	△381
営業活動によるキャッシュ・フロー	314	△503

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	562	69
有形固定資産の取得による支出	△618	△665
有形固定資産の売却による収入	-	58
無形固定資産の取得による支出	△19	△14
投資有価証券の取得による支出	△8	△9
投資有価証券の売却による収入	-	512
差入保証金の回収による収入	4	5
その他	5	△76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73	△119
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△65
長期借入金の返済による支出	△1,600	△277
配当金の支払額	△389	△567
自己株式の取得による支出	△0	△1
非支配株主への配当金の支払額	△18	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△2
その他	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,008	△916
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	3
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,788	△1,535
現金及び現金同等物の期首残高	8,474	5,400
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,686	3,865

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

〔「税効果会計に係る会計基準」の一部改正〕等の適用)

〔「税効果会計に係る会計基準」の一部改正〕(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日至2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結財務諸表計上額
	製粉及び食品事業	外食事業	運送事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,258	3,085	115	23,459	—	23,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	0	936	942	△942	—
計	20,264	3,085	1,051	24,401	△942	23,459
セグメント利益	1,120	13	96	1,230	28	1,258

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結財務諸表計上額
	製粉及び食品事業	外食事業	運送事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,945	2,963	76	25,986	—	25,986
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	0	922	932	△932	—
計	22,954	2,964	999	26,918	△932	25,986
セグメント利益又は損失(△)	1,596	△54	81	1,623	36	1,660

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。